



■学校運営協議会より (元木小学校学校運営協議会 会長 高橋寛行)

6年生の皆さま、ご卒業おめでとうございます。

保護者、地域の皆さまのご協力により、無事子どもたちを送り出すことができました。

心より感謝申し上げます。

さて近年、一人ひとりの個性を尊重する多様性を重視した世の中に日々変わってきています。

人権の大切さの認識と、SDGsの「誰一人取り残さない」という原則の広まりを感じます。

小学校においても、子どもたちへの対応や教職員の働き方改革などの面から一昔前の当たり前が許されない事を自覚して行動する必要があります。

一方このような状況は小学校の教職員に少なからず負担を強いていることも現実です。

そうした学校を取り巻く問題に対し、社会総掛かり対応することが必要な時代になりました。

行政では地域と学校が連携・協働して学校を核とした地域づくりを目指し、様々な施策が進んでいて、学校教育において地域の皆様の役割も徐々に増えてきています。

このような小学校の新しいかたちづくりに、学校運営協議会は地域と学校の調整役として議論を重ねてまいりますので、新年度も皆様のご理解とご協力を心よりお願いいたします。

■学校長より (元木小学校 校長 寺本 英雄)

本校に着任し1年目となる本年度、スローガンに「学校・保護者・地域の方々の連携による『チーム元木』で『笑顔があふれる学校』に～共育・協育、今日行く～」を掲げ、一人の児童をできる限り最大限の大人が情報共有して、協力して育てること(共育・協育)、児童への初期対応・指導・支援は、気持ちに寄り添い今すぐに行うこと(今日行く)に取り組んでまいりました。

「with コロナ・after コロナ」としてスタートした本年度は、コロナ禍中にできなくなっていたり、縮小していたりしていた教育活動の再開や見直しを行う一年間となりました。コロナ禍前に実施していた教育活動を、そのまま、元通りにするといった考え方ではなく、コロナ禍を経たことを機会として、学校評価を参考にするとともに、学校運営協議会と連携し、情報共有し、ご意見を伺いながら見直し、改善を図りながら、学校経営をすすめることができました。ありがとうございました。来年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

■副校長より (元木小学校 副校長 河野 佳子)

ピンチの裏側

神様は決してピンチだけをお与えにならない。

ピンチの裏側に必ずピンチと同じ大きさのチャンスを用意してくださっている。

グチをこぼしたりヤケを起こしたりするとチャンスを見つける目がくもりピンチを切り抜けるエネルギーさえ失せてしまう。

ピンチはチャンス！どっしりかまえてピンチの裏側に用意されているチャンスを見つけよう。

山本 よしき

人生に行きづまったとき、この詩を読んで、何らかのヒントをつかみ、希望を見出してほしいと思います。ピンチの時にチャンスを狙えるプラス思考で生きてください。

卒業、おめでとうございます。

◆活動報告（委員が代表を務める組織の活動）

■恩方東学童保育所（施設長：白井 由美 委員）

こんにちは東学童保育所です。

卒業生みなさんご卒業おめでとうございます。

3学期は学級閉鎖が続き、朝から登所の日もあり少し忙しい日々が続きましたが、過ごしやすい気候で職員と子ども達は元気に過ごす事ができました。

1月はみんなで凧を作りました。最初から手作りなので子どもたちは本当に飛ぶのかなぁと不安がっていましたが、全員の凧が空高く舞い上がりました。



青空のもと元気に凧揚げ



楽しくコマ回し

2月はけん玉、コマ、縄跳び検定をしました。1年生は、絶対できないからやりたくない！という子もいましたが、やり始めると楽しくて一生懸命頑張ってミッションをクリアしていました。今年は6年ぶりのけん玉達人が出たくらい大盛り上がりの検定でした。4月から学童には32人の新一年生が入所します。

1年生から3年生で78人の予定です。職員一同、元気に登所してくれるのを楽しみにしています。

■NPO 法人 小津倶楽部（代表：前原 教久 委員）

今年の冬は、寒暖の差があり寒い日も多く、地面が真っ白になるほどの雪が3度降りました。雪が降ると畑がぬかるんで作業が大変です。

また最近、猿による被害が増え植え付けた苗が全部抜かれたりするので、いろいろと知恵を絞って闘っています。

林業班は、いろいろな物の材料になる木の伐り出しや、木工製品を作ったりと1年で一番忙しい時期です。

そんな中でも季節の行事は大事にしており、2月には豆まき、3月



雪や猿にも負けません！



ひなまつりの餅つき

にはひなまつりの餅つきを行い、大勢の子ども達と楽しみました。

来年度は、八王子市が進めている「地域づくり」で、恩方全体で取り組むことが予想されます。

小津倶楽部も、その中で何ができるか考えていきたいと思います。

6年生の皆さんは、中学校生活に期待と不安が入り混じっていると思います。目標に向かって頑張ることも大事ですが、壁にぶつかった時などは、小津倶楽部の精神「なんとかなるさ」でゆったりと取り組むことも必要だと思います。「ありのままの自分」でいることが、一番心地いいのですから。

■放課後子ども教室（もとキッズランド）会長：出浦敏充 副会長

小高い丘に立つ元木小から観える城山の四季折々の風景の下で勉学に励み、ご卒業を迎える6年生に心よりお祝いを申し上げます。

保護者の皆様へ推進委員と安全管理員よりお喜びを申し上げます。

卒業される6年生の皆さんは中学生となり、いろいろなことを経験することと思われませんが、自分を信じて将来の夢や目標に向かって歩む事を願う次第です。



生け花教室を開催しました



個性豊かな作品に感動！

放課後子ども教室の活動に於いて、子ども達が楽しく遊び学んで成長していく姿を見守るのが安全管理員の方々の励みとなっています。

3月初旬に4～6年生20名の子ども達が参加して開催した

「生け花教室」では、個性豊かな作品作りに感動をもらいました。

保護者より活動日を増やして欲しいとの要望を受け、検討の結果来年度より月曜日から金曜日まで週5日の活動とすることを決定したことをご報告いたします。

子ども達が笑顔で伸び伸びと遊び学ぶ刻を増やし、活動を継続することが子ども教室の発展に繋がると考えております。

■元木小おやじの会（会長：中島 隆弘 委員）

令和6年3月3日に例年実施している池清掃をおこないました。

急遽日程が決まった関係で少人数でしたが、6年生の卒業式前に元木小のシンボルである「池」をきれいにし、気持ちよく卒業を迎えてほしい気持ちで活動にあたりました。

池清掃は毎年実施しており、慣れたものでしたが、アクシデントもありました。

池の水を吸い出すポンプが故障しており、どうしたらよいかみんなで考え、バケツで水をすくい上げようということになりました。気が遠くなる作業だなとも感じましたが、メンバーそれぞれが役割を担い、声を掛け合いながら作業にあたりました。



卒業式前に池をキレイに



ご卒業おめでとうございます

結果的にポンプで吸い出すよりも短時間で水を抜くことができ、わずか2時間で池をきれいにすることができました。1人では難しい事でも仲間と力を合わせればどんな困難も乗り越えられることを改めて実感した場面でした。

卒業生の皆さんも4月より中学生となります。1人では困難な場面が今まで以上にあると思いますが、そんな時はぜひ周りの仲間に協力してもらってください、大きな力を与えてくれるはずです。

おやじの会 メンバー募集中！

元木小へ元気に通う子供たちのために、一緒に活動いただけるメンバーを随時募集しております。是非お気軽に声をかけてください（＾＾）/

❖ 地域の情報

■ 防犯情報（八王子市 防犯・防災メール配信サービス）

防犯メール配信サービス

令和5年度
八王子市不審者情報

令和6年3月21日現在

学期		不審者情報	発生頻度
1 学期 (春休み含む)	八王子市	32	3.3 日に1件
	学区内	0	〃
2 学期 (夏休み含む)	八王子市	49	3.2 〃
	学区内	2	78.5 〃
3 学期 (冬休み含む)	八王子市	16	5.8 〃
	学区内	0	- 〃
合計	八王子市	97	3.6 〃
	学区内	2	177.0 〃

※元木小学運協まとめ

八王子市が発信する不審者情報を毎学期まとめてまいりましたが、ここ数年減少傾向が続いていて、ありがたい限りです。本年学区内では2学期の2件のみでした。市全体では97件でこれは一昨年から半減しています。

皆様の見守りの成果ではありますが、小学生を取り巻く犯罪は後を絶たない現状に、今後とも気を緩めず皆様のお見守りをお願いいたします。



■ 恩方地区まちづくり懇談会（2月25日(日)13時半～／恩方市民センター）

恩方地区住民協議会（前原委員が副会長）主催により開催され2つの講演がありました。

中島隆弘 事務局長（元木小おやじの会 会長）の司会で開会され、最初の八王子市の地域づくり担当 伊東課長は「八王子未来デザイン2040」（昨年3月に策定された、八王子の未来像と行動計画を示したもの）の中で、恩方地域に関わる「地域づくり推進事業」について説明をいただきました。

この事業は各地域に「地域づくり推進会議」を設置し地域の魅力や課題を再発見しながら地域のつながりを増やし行政との協働するしくみ（地域自治）をつくっていくものだそうです。

中学校校区ごとに設置され、すでに4地域で設置され進んでいるところで、恩方地区では恩方中学校区（恩方第一小、恩方第二小、元木小）が対象となり、この日のまちづくり懇談会を「恩方中学校区地域づくり準備会」と位置づけ、推進会議設置に向けスタートしました。

次のコミュニティソーシャルワーカーの高桑ひとみさんは、はちまるサポート恩方（正式名称：八王子まるごとサポートセンター恩方）についてお話いただきました。

地域の身近な福祉総合相談窓口として、どこに相談してよいかわからない困りごとの相談を受け付け各種関係機関と協力して解決を目指す包括的な相談窓口を担っているとのことでした。

とても頼りがいのある仕組みを運営されていて安心ですね。

この懇談会には1月に就任されたばかりの「しやけ和夫」市長が参加され、恩方地区の事をよく勉強したいとのことで、冒頭より終了まで2時間参加いただきました。

これからの市政運営に恩方地区の課題を積極的に検討いただけると感じました。

今回2つの講演の、関係サイトはQRコードからご覧ください。



地域づくり推進会議



はちまるサポート恩方

❖ 編集後記

いよいよ温かな春と桜の季節になりますが、花粉症でせっかくの季節も台無しです。最近保険会社の紹介でオンライン診療（5分程度）を受診しました。薬は早ければ自宅や最寄りのコンビニに翌日届くサービスです。料金も通常と変わらないので大変助かりました。（HT）